

しょう

りょう

だな

かざ

かた

精霊棚の飾り方



お盆には古来、各家庭で「精霊棚」をしつらえ、精霊をお迎えしてきました。

精霊棚の飾り方は地方、地域によって独自の伝統や風習があり少しずつ異なります。

ますが、一般的なものを紹介します。仏壇の前に真菰のゴザを

敷いた台を置き、その四隅または仏壇の両側に笹竹を立て、上部に縄を張ってホ

心を込めて精霊をお迎えしましょう

オスキなどを吊します。縄は「この中に精霊が来られる」という結界を表し、ホオスキは提灯を表します。台には水や水の子、キュウリの馬やナスの牛を飾ります。「水の子」はナスやキュウリを賽の目に切ったものと洗米を混ぜ、蓮の葉の上に盛りつけたもので、百八つの煩惱を表します。そして灑水盤（蓮の葉）に入れた水を溝萩（みそはぎ）に含ませて、水の子に注ぎます。これは煩惱を鎮めるためだと言われています。またキュウリの馬はご先祖さまに少しでも早く帰って来て頂くために、ナスの牛はゆっくりお帰り頂くためにお供えします。そのほかにも亡くなった方の好きだった物や季節の果物、生花など新鮮なものをお供えし、心を込めて精霊をお迎えしましょう。